

秋田市の先人たち

大正文学史に足跡をしるす農民運動家

堀井梁歩

明治二十（一八八七）年生

昭和十三（一九三八）年没

仁井田村猿田川（仁井田福島）生まれ



主な事蹟

アメリカの文学者ホイットマンやソローに傾倒し、友人らと農民文芸誌「筆と鋤」を創刊。農民新生運動を提唱して、秋田ビルディングに農民ホールを設けるなど実践に乗り出し、秋田消費組合や医療組合設立の端緒をつくった。また、農民啓発誌「大道」を創刊するなど、農民の救済啓蒙に取り組んだ。他方、ペルシャ古詩「ルバイヤット」の研究にも大きな功績を残した。